

第2回医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会  
第2回医療ツーリズムと地域医療との調和に関するワーキンググループ  
次 第

日 時 令和元年5月17日(金) 18時30分～  
場 所 神奈川県総合医療会館 1階AB会議室

1 開会

2 報告

- (1) 厚生労働省「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」の結果概要と本県における実態について《資料1》

3 議題

- (1) 本検討会における医療ツーリズムの定義について《資料2》  
(2) 医療ツーリズムと地域医療との調和に向けたルールの検討について《資料3》  
(3) 今後の検討の進め方について《資料4》

4 その他

- (1) 国への要望について《参考資料2》  
(2) 外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の選出について《別紙》

5 閉会

《配布資料》

資料1 厚生労働省「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」の結果概要と本県における実態について

資料2 本検討会における医療ツーリズムの定義

資料3-1 医療ツーリズムと地域医療との調和に向けたルールの検討について

資料3-2 県資料3に対する疑問点及び意見(窪倉委員提出資料)

資料4 今後の議論の進め方について

参考資料1 検討会・ワーキンググループの役割分担と当面の検討事項について  
(第1回会議配布資料)

参考資料2 国への要望について

参考資料3 葬会「外国人専用医療ツーリズム病院計画について」

別紙 外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の選出について

第2回医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会  
 第2回医療ツーリズムと地域医療との調和に関するワーキンググループ  
 出席表

(敬称略・五十音順)

○医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会

委員名	所属団体名	役職	出欠
あらえ りょういち 新江 良一	神奈川県病院協会	会長	○
いけがみ あきこ 池上 晃子	相模医師会連合会	会長	○
いしい たかし 石井 貴士	神奈川県医師会	理事	○
おおかわ としゆき 大川 寿之	茅ヶ崎市	保健所地域保健課長	欠席
くぼくら たかみち 窪倉 孝道	神奈川県病院協会	副会長	○
こばやし としあき 小林 利彰	横須賀市	保健所長	○
こまつ かんいちろう 小松 幹一郎	神奈川県医師会	理事	○
さかもと のぼる 坂元 昇	川崎市	医務監	○
しゅうり じゅん 修理 淳	横浜市	医療局長	○
すずき じんいち 鈴木 仁一	相模原市	保健所長	○
たかはし あきら 高橋 章	川崎市医師会	会長	○
つじ としゆき 辻 俊之	藤沢市	福祉健康部参事 兼地域保健課長	○
まえだ みつや 前田 光哉	神奈川県	健康医療局技監	○
みずの きょういち 水野 恭一	横浜市医師会	会長	○
みすみ たかひこ 三角 隆彦	神奈川県病院協会	常任理事	○

(裏面に続く)

○医療ツーリズムと地域医療との調和に関するワーキンググループ

委員名	所属団体名	役職	出欠
うつみ とおる 内海 通	川崎市病院協会	会長	○
おおた あみかず 太田 史一	神奈川県病院協会	常任理事	○
おかの としあき 岡野 敏明	川崎市医師会	副会長	○
こまつ かんいちろう 小松 幹一郎	神奈川県医師会	理事	○
さかもと のぼる 坂元 昇	川崎市	医務監	○
すが やすひろ 菅 泰博	川崎市病院協会	理事	欠席
たかはし あきら 高橋 章	川崎市医師会	会長	○

## 2 神奈川県における医療ツーリズム受け入れに係る基本的な考え方

- 神奈川県は、都道府県別人口数では全国2位である一方、人口10万人当たりの医療機関数(病院、医科診療所)、病床数、医療施設従事者数(総数)が全国平均を下回るなど、県内の医療資源はなお不足している状況にある。
- こうした点を踏まえ、地域医療との調和を図る観点から、既存の保険医療機関の余力を活用した形での医療ツーリズムの受け入れを原則とする。

(表)人口10万人当たりの医療施設数・医療従事者数(神奈川県)

項目	数量	順位	出典
病院の施設数	3.7病院	47位	H29医療施設調査
病床数(病院のみ)	806.2床	47位	H29医療施設調査
医療施設従事医師数	205.4人	39位	H28医師・歯科医師・薬剤師調査
就業看護師数	686.6人	45位	H28衛生行政報告例

(参考)あいち医療ツーリズム研究会「医療ツーリズム推進に向けた提言～愛知の医療ツーリズムを世界へ発信～」(平成28年11月)  
「医療ツーリズムは、医療機関の受入余力を活用して、外国人患者に日本の医療サービスを提供することが前提であり、医療ツーリズムで訪日する外国人患者の受入れは一定数にとどめるなど、地域医療に影響を及ぼさない範囲で実施するよう十分に配慮することが求められる」

## 資料4

### 今後の検討の進め方について

- ◇今後の検討の進め方と中間・最終報告について
- ◇今後の検討会等の開催日程のイメージ

令和元年5月17日

神奈川県医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会  
神奈川県医療ツーリズムと地域医療との調和に関するワーキンググループ  
事務局提出資料

# 今後の検討の進め方と中間・最終報告について

- 今後は、検討会の単独開催とし、神奈川県における医療ツーリズムの受け入れに係るルールの議論を行うこととしたい。
- 令和元年夏頃に中間報告を、同年12月から令和2年1月頃に最終報告を取りまとめることとしたい。最終報告では、県のルール及び神奈川県らしい医療ツーリズムのあり方を示す文書(提言)として公表する。
- その後、県内の個別事案の動きに合わせて、ワーキンググループで議論を行う。

## 《中間報告のイメージ》

- 神奈川県内の医療機関で医療ツーリズムを受け入れる場合の課題の整理
- 医療ツーリズムを受け入れる場合のルールの骨子

## 《取りまとめ時期》

- 6月下旬～8月初旬に第3回検討会
- 事務局から中間報告の案を提出
- 第3回検討会開催後、出された意見等を踏まえて、必要に応じて書面協議を実施後、事務局にて取りまとめる。

## 《最終報告のイメージ》

- 「神奈川県における医療ツーリズムと地域医療との調和に向けた提言(仮称)」として、神奈川県で医療ツーリズムを受け入れる場合のルール、神奈川県らしい医療ツーリズムの姿の本立として構成

## 《取りまとめ時期》

- 11月上旬～12月中旬に第4回検討会
- 事務局から提言の案を提出
- 第4回検討会開催後、出された意見等を踏まえて、必要に応じて書面協議を実施後、事務局にて取りまとめる。



# 今後の検討会等の開催イメージ

会議体	検討項目等	平成31年度・令和元年度														
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
神奈川県保健医療計画推進会議				第3回 ☆(3/7)			R元年度第1回	R元年度第2回	R元年度第2回						R元年度第3回	
医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会	県全体の医療ツーリズムに係るルールの策定、国への意見書内容精査等	第1回 ☆(1/31)			第2回 ☆(5/17)		第3回	書面協議 中間報告 国への要望			中間報告、最終報告について報告 第4回	書面協議 最終報告				
医療ツーリズムと地域医療との調和に関するワーキンググループ	川崎地域における個別案件の検討	第1回 ☆(1/31)			第2回 ☆(5/17)			個別案件次第で随時開催								
川崎地域地域医療構想調整会議	川崎地域における個別案件の検討、報告		☆(2/14)					R元年度第1回	R元年度第1回	R元年度第2回	R元年度第2回			R元年度第3回		
神奈川県医療審議会	病院開設中止の勧告の答申			☆(3/14)						R元年度第1回	R元年度第1回	中間報告、最終報告について報告			R元年度第2回	
川崎市地域医療審議会	川崎地域における個別案件の検討、報告						第1回 ☆(6/24)					第2回以降の開催については未定				